

社 会

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい社会
17	教 出	小学社会
38	光 村	社会
116	日 文 1	小学社会
116	日 文 2	小学生の社会

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 単元・題材の目標の示し方	1時間ごとの目標の記載の仕方及び具体例
		② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	(第3・4学年) 年中行事の扱い (第5学年) 環境の保全についての扱い (第6学年) 世界文化遺産の扱い及び掲載されている世界文化遺産
		③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	(第3・4学年) 47都道府県の学び方の例 (第5学年) 世界の主な大陸と海洋の例及び世界の主な国の例 (第6学年) 歴史上の人物の扱い及び事例
(イ)	学習方法の工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	導入の工夫及び興味・関心を高める問いの例
		⑤ 見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫	学び方のポイントとまとめ方の例
		⑥ 作業的・体験的な学習を実施するための工夫	作業的・体験的な学習の例及び具体的な事例
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元・題材や資料等の配列	単元の構成・事例の取扱い
		⑧ 単元・題材ごとの分量や問題数等	各単元の構成、補充的・発展的教材の分量、バランス
(エ)	内容の表現・表記	⑨ 本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用	使用されている写真、地図、グラフ等の資料及び小単元における資料の種類と数
		⑩ 本文以外の記述の工夫	脚注・側注の扱い
(オ)	言語活動の充実	⑪ 観察・調査や資料活用を通して入手した情報を的確に記録し、それらを再構成するとともに、お互いの考えを深めていくための工夫	観察・調査や資料活用を通して入手した情報を的確に記録し、それらを再構成するとともに、お互いの考えを深めていくための学習活動例
		⑫ 調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫	新聞、地図、年表、レポート、ホームページなどでのまとめ方及び具体例

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	①単元・題材の目標の示し方
方法	1時間ごとの目標の記載の仕方及び具体例

	1時間ごとの目標の記載 (第3・4学年)	具体例
東書	○ 見開きごとに「よく行く店」、「買い物しらべ」等のタイトルを項目で示し、タイトルの左横に「つかむ」、「しらべる」、「まとめる」の学習過程とともに「どんな～でしょうか。」「なぜ～でしょうか。」「どのような～でしょうか。」等の問いかけの形態で問題を提示している。	○ 「わたしたちは、どんな店で買い物をしているのでしょうか。」 ○ 「家の人は、なぜその店に行くのでしょうか。」
教出	○ 見開きごとに「自分の家の買い物を調べよう」、「グラフや地図にまとめよう」等、学習の内容・方法等を提示し、タイトルの左横に「～は、どうすればよいだろう。」「どのようにして～」、「どんなことがわかるだろう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。	○ 「家の人たちが、店を選んで買い物をしているわけを調べるには、どうすればよいだろう。」 ○ 「家の人たちは、どの店で、何を買っているのだろう。」
光村	○ 「よく行くお店について調べよう」、「スーパーマーケットを見学しよう」等、学習の内容・方法等を提示し、タイトル右横に「～どこかな」、「どんなことを～」、「どうやって～」、「どうすれば～」、「～作ってみよう」等の問いかけの形態で問題を提示している。	○ 「よく行くお店はどこかな。」 ○ 「予想をたしかめるためには、どんなことを調べればいいのか。」
日文1	○ 「買い物調べのけっかをまとめると」、「予想したことを見学でたしかめよう」等、学習の内容・方法等を見開きごとに提示し、タイトル左横に「どこに～」、「どうして～だろう。」「どんな～だろう。」「どのように～だろう。」等の問いかけの形態で問題を提示している。	○ 「わたしの家では、どの店でどんな品物を買っているのだろう。」 ○ 「わたしの家では、どこに買い物に行くことが多いのだろう。」
日文2	○ 「店のかんさつ」、「お客さんへのインタビュー」等のタイトルを見開きごとに項目で示し、タイトルの下に「どんな～でしょうか。」「どうして～でしょうか。」「どのように～でしょうか。」「～は、どうするのでしょうか。」等の問いかけの形態で問題を提示している。	○ 「お客さんを集めるために、店にはどんなくふうがあるのでしょうか。」 ○ 「お客さんは、どうしてスーパーに買い物に来るのでしょうか。」

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方法	年中行事の扱い

年中行事の扱い（第3・4学年）	
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「松山の秋祭り」を例に挙げている。 ○ 図書室で松山の祭りについて調べた後で、祭りを運営している人からの聞き取りを行い、分かったことを新聞にまとめている。地域に伝わる芸能についても、聞き取ったり、体験したりして分かったことをレポートにまとめている。 ○ 郷土かるたを作り、地域に古くから残るものについて感じたことを話し合っている。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「太尾ばやし」、「つつがゆ神事」を例に挙げている。 ○ 祭りやおはやしについて神社で聞き取りを行った後、練習会に参加して、楽器を演奏したり、おはやしを続けている人に話を聞いたりしている。神事について神主さんに聞き取りをしている。 ○ 日本の年中行事について調べて感じたことをノートにまとめている。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「舞岡ばやし」を例に挙げている。 ○ おはやしのビデオを見た後、保存会の練習の見学をしたり、聞き取りをしたりしている。さらに保存会の方に教えていただいて、おはやしに挑戦している。 ○ 横浜に昔から伝わる他の行事を調べるよう例示している。
日文1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「くじら船まつり」を例に挙げている。 ○ 調べ方を話し合った後、調べたことをまとめたカード、写真、資料をもとに学習を進めている。保存会の人からの聞き取りを行い、たいこのたたき方や踊りを体験している。その後、祭りが続いている理由を話し合い、「くじら船まつり」について調べたことを紙しばいにまとめている。 ○ 四日市市に伝わる他の祭りや行事について調べた結果を紹介している。
日文2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「長崎くんち」を例に挙げている。 ○ 観光パンフレットやガイドブックで行事について調べた後、「長崎くんち」について、本で調べたり、聞き取りをしたりして分かったことをノートにまとめている。また、日本の年中行事や地域に残る古い建物や施設についても調べている。 ○ 市内に残っている古い建物や言い伝えを歴史マップに表している。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方法	環境の保全についての扱い

環境の保全についての扱い（第5学年）	
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鴨川を取り上げ、鴨川が汚れた理由や鴨川をきれいにするための努力について、手紙で質問をしたり聞き取りをしたりしている。 ○ 鴨川の環境を守るための取組について聞き取りをしたり調べたりしている。 ○ 京都議定書に触れ、京都市や市民が取り組んでいる活動について調べている。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北九州市の「エコタウン」を取り上げ、資源の再利用について、リサイクル工場を見学したり聞き取りをしたりしている。 ○ 「エコタウン事業」以外の取組について、市役所の人からの聞き取りを行い、考えをノートにまとめている。 ○ 北九州市が環境首都を目指している理由を調べ、環境を守る活動を取り上げている。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水俣病を取り上げ、発生の理由や被害について、水俣病資料館のホームページや図書館で調べたり聞き取りをしたりしている。 ○ 水俣市の環境への取組についてグループで調べ、発表し合っている。 ○ 身近なところにある公害について調べ、水を汚さないためにどうすればよいかを考えている。
日文1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 琵琶湖を取り上げ、琵琶湖のはたらきや特色について本やインターネットで調べた後、琵琶湖の自然を取り戻すための取組について調べ、ノートにまとめている。 ○ 琵琶湖の自然を守るための取組について、聞き取りをしている。 ○ 四大公害について調べ、ノートにまとめるとともに、日本の環境問題について話し合い、環境を守る取組をカードにまとめている。
日文2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水俣病について、インターネットに掲載されている語り部の話や先生の話をもとに、病気の発生と経過を図書館で調べ、年表にまとめている。 ○ 公害を防ぐために、国や熊本県、水俣市が行った対策をインターネットで調べたり、市役所へ手紙を出して聞き取ったりしている。 ○ 水俣市の環境への取組を市役所へ手紙を出して聞き取っている。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方法	世界文化遺産の扱い及び掲載されている世界文化遺産

	世界文化遺産の扱い（第6学年）	掲載されている世界文化遺産（第6学年）
東書	○ 本文中の写真の表題の後に括弧書きで世界文化遺産と記している。	○ 法隆寺，東大寺大仏殿，正倉院，唐招提寺，平等院鳳凰堂，熊野古道，巖島神社，金閣寺，銀閣寺，石見銀山，日光東照宮の陽明門，復元された首里城，原爆ドーム，白川郷の集落
教出	○ 目次のページに国宝・重文・世界遺産のマークとその説明が書かれている。 ○ 本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークを付けている。	○ 法隆寺，唐招提寺，東大寺大仏殿，正倉院，姫路城，巖島神社，金閣寺，銀閣寺，日光東照宮，原爆ドーム
光村	○ 目次のページに世界遺産と国宝について紹介しているマークを紹介している。 ○ 本文中の写真の表題の後に世界遺産のマークを付けている。 ○ 巻末の見開き2ページに日本の世界遺産がすべて紹介されている。	○ 法隆寺地域の仏教建造物，古都奈良の文化財，古都京都の文化財，巖島神社，日光の社寺，原爆ドーム，姫路城，石見銀山遺跡とその文化的景観，白川郷・五箇山の合掌造り集落，琉球王国のグスク及び関連遺産群，紀伊山地の霊場と参詣道
日文1	○ 見開き2ページに世界遺産について説明している。 ○ 原爆ドームは本文中の写真の説明の中に，世界遺産に登録されていることが書かれている。	○ 法隆寺，東大寺の大仏殿，正倉院，平等院鳳凰堂，金閣寺，銀閣寺，龍安寺，首里城，原爆ドーム
日文2	○ 巻末の折込み2ページに日本の世界文化遺産がすべて紹介されている。 ○ 平等院鳳凰堂及び法隆寺は，本文中の写真の説明の中に，世界遺産に登録されていることが書かれている。 ○ 紀伊山地の霊場と参詣道及び姫路城は，各見開き2ページで紹介されている。	○ 法隆寺地域の仏教建造物，古都奈良の文化財，古都京都の文化財，巖島神社，日光の社寺，原爆ドーム，姫路城，石見銀山遺跡，白川郷・五箇山の合掌造り集落，琉球王国のグスク及び関連遺産群，紀伊山地の霊場と参詣道

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
方法	4 7 都道府県の学び方の例

4 7 都道府県の学び方の例 (第 3・4 学年)	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「知っている都道府県を地図帳でたしかめよう」で、高知県・京都府・熊本県・岡山県・北海道・神奈川県・徳島県・山梨県の各道府県について、写真と文章で特色を例示している。 ○ 「都道府県の特産品」で、各都道府県の特産品を地図中に絵で例示している。 ○ 「都道府県カルタで遊ぼう」で、調べた都道府県の名物、文化財、伝統工芸品、都道府県庁所在地などをカルタにしている。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の都道府県の区分」で、北海道、大阪府、広島県、沖縄県の各道府県について、写真と文章で特色を例示している。 ○ 都道府県の名称と位置を確認する視点として、面積の大小・湖の有無・海の有無・地方区分・県庁所在地・形を例示している。 ○ 「都道府県クイズをつくって遊んでみよう」で、動物の名前が含まれる県、特定の漢字が使われている県、海に面している県などを例示している。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「わたしたちのまちは、わたしたちの都道府県は、日本のどこにあるのかな」で、大分県、広島県、長野県、神奈川県の各県について、写真と文章で特色を例示している。 ○ 「わたしたちの都道府県はどれかな」で、すべての都道府県を分解して図示し、大きさや形のちがいから都道府県の名称と位置を確かめさせている。
日 文 1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の都道府県名をすべてゲットだ！」で、岡山県、北海道、沖縄県、兵庫県、栃木県、香川県の各道県について、文章で位置関係を例示している。 ○ クイズ形式で都道府の数、最初の文字がそれぞれ「お」、「か」、「や」、「ま」である都道府県の数を調べさせ、キャラクターの電話番号を完成させるようにしている。
日 文 2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「都道府県を調べよう」で、自分の住んでいる県（都、道、府）とそれ以外で知っている県や県名が「あ」ではじまるもの、県名に「山」、「川」がついているものを書き込ませ、山と川の付く県名は、白地図に色を付け、位置を確認させている。

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
方法	世界の主な大陸と海洋の例及び世界の主な国の例

	世界の主な大陸と海洋の例 (第5学年)	世界の主な国の例 (第5学年)
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユーラシア大陸, アフリカ大陸, オーストラリア大陸, 北アメリカ大陸, 南アメリカ大陸, 南極大陸 ○ 太平洋, 大西洋, インド洋 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の国々 大韓民国, イギリス, フランス, ドイツ, 中華人民共和国, カナダ, アメリカ合衆国, アルゼンチン, ブラジル, オーストラリア, ニュージーランド, エジプト, 南アフリカ共和国, サウジアラビア, ロシア連邦 ○ まわりの国々 モンゴル国, 朝鮮民主主義人民共和国, ロシア連邦, 中華人民共和国, 大韓民国, フィリピン共和国, ベトナム社会主義共和国
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユーラシア大陸, アフリカ大陸, オーストラリア大陸, 北アメリカ大陸, 南アメリカ大陸, 南極大陸 ○ 太平洋, 大西洋, インド洋 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の国々 イギリス, フランス, トルコ, ドイツ, ガーナ, サウジアラビア, ロシア連邦, 中華人民共和国 (中国), タイ, インド, オーストラリア, 南アフリカ共和国, アメリカ合衆国, カナダ, メキシコ, ペルー, ブラジル, アルゼンチン ○ まわりの国々 ロシア連邦, モンゴル国, 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮), 大韓民国 (韓国), 中華人民共和国 (中国), フィリピン共和国
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユーラシア大陸, アフリカ大陸, オーストラリア大陸, 北アメリカ大陸, 南アメリカ大陸, 南極大陸 ○ 太平洋, 大西洋, インド洋 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の国々 大韓民国, 中華人民共和国, シンガポール, インド, サウジアラビア, ロシア連邦, スウェーデン, ドイツ, フランス, イギリス, イタリア, エジプト, 南アフリカ共和国, ニュージーランド, カナダ, アメリカ合衆国, ブラジル, アルゼンチン, オーストラリア ○ まわりの国々 ロシア連邦, 朝鮮民主主義人民共和国, 大韓民国, 中華人民共和国
日文1	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユーラシア大陸, アフリカ大陸, オーストラリア大陸, 北アメリカ大陸, 南アメリカ大陸, 南極大陸 ○ 太平洋, 大西洋, インド洋 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の国々 アメリカ合衆国 (アメリカ), カナダ, ロシア連邦 (ロシア), 中華人民共和国 (中国), 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮), 大韓民国 (韓国), タイ, ベトナム, フィリピン, インドネシア, オーストラリア, ドイツ, フランス, イタリア, サウジアラビア, インド, エジプト, 南アフリカ共和国, メキシコ, ブラジル ○ まわりの国々 アメリカ合衆国 (アメリカ), カナダ, ロシア連邦 (ロシア), 中華人民共和国 (中国), 朝鮮民主主義人民共和国 (北朝鮮), 大韓民国 (韓国), タイ, ベトナム, フィリピン, インドネシア, オーストラリア
日文2	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユーラシア大陸, アフリカ大陸, オーストラリア大陸, 北アメリカ大陸, 南アメリカ大陸, 南極大陸 ○ 太平洋, 大西洋, インド洋 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 世界の国々 世界の主な国々について, まとめて取り上げた箇所はなく, 水産業や工業に関する他の単元において, 『グラフにある外国の位置を, 地図帳で調べてみましょう。』(水産業単元, 吹き出し), グラフ (おもな国の一人1日あたりの魚介類の消費量) に示された国 (日本, 韓国, ポルトガル, 中国, フランス, アメリカ, オーストラリア, イギリス, ブラジル) などの形で数箇所記述されている。 ○ まわりの国々 ロシア連邦, 朝鮮民主主義人民共和国, 大韓民国, 中華人民共和国, フィリピン

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
方法	歴史上の人物の扱い及び事例

	歴史上の人物の扱い (第6学年)	事例
東 書	○ 学習指導要領に例示されている42名の人物については、すべて扱っている。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 囲み資料 ○ 肖像、「学問のすゝめ」(写真) ○ 「学問のすゝめ」(文章) <p>福沢諭吉が書いた「学問のすゝめ」全17編は、340万部以上売れたといわれています。「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言えり」で始まるこの本には、人間は生まれながらにして平等であること、一国の独立は個人の独立にもとづくこと、個人の独立には学問が必要なことなどが記されています。明治の新しい時代にふさわしいと思われる人間の生き方が書かれたこの本を、当時の知識人を中心とした人々は競って読みました。</p>
教 出	○ 学習指導要領に例示されている42名の人物については、すべて扱っている。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 囲み資料 ○ 肖像(生没年) ○ 福沢諭吉と「学問のすゝめ」(文章) <p>江戸時代の終わりに中津藩(大分県)の武士の家に生まれた福沢諭吉は、家がらなどによって身分が決まるしくみはまちがっていると考えました。諭吉は、「学問のすゝめ」という本で、「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずといえり。」と書いて、人は生まれながらにして平等であり、学問をすることで身を立てていくべきだと主張しました。「学問のすゝめ」はたちまち20万部も売れ、新しい時代の中で、多くの人に影響をあたえました。</p>
光 村	○ 学習指導要領に例示されている42名の人物については、すべて扱っている。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 囲み資料 ○ 肖像(生没年) ○ 新しい考え方を主張した福沢諭吉(文章) <p>福沢諭吉は、中津藩(大分県)の身分の低い武士の家に生まれました。身分や家がらで将来が決めてしまう社会に疑問をもっていた諭吉は、長崎や大阪で西洋の学問を勉強し、力をつけました。</p> <p>日本が開国すると、諭吉は、アメリカやヨーロッパに行き、西洋と日本との生活や考え方のちがいにおどろきました。そして、西洋の様子を本にあらわして、人々に伝えました。</p> <p>1872年に出した『学問のすゝめ』は、「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず」という言葉で始まり、人間はみな平等であること、学問をすることによって国民が自立することの大切さを説いています。</p>

<p style="text-align: center;">日 文 1</p>	<p>○ 学習指導要領に例示されている42名の人物については、すべて扱っている。</p>	<p>○ 囲み資料 ○ 肖像（生没年） ○ 『学問のすゝめ』（文章） 天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらずと言うように、人はみな、生まれながら平等である。 また、学問のなかでも世の中の役に立つ実学にはげむことで、人は独立することができる。一人一人の独立が、やがて日本の独立につながるのである。 中津藩（大分県）出身の福沢諭吉は、下級武士の子どもでしたが、欧米にもわたり、『学問のすゝめ』を書くなど、教育者としてかつやくしました。</p>
<p style="text-align: center;">日 文 2</p>	<p>○ 学習指導要領に例示されている42名の人物については、すべて扱っている。</p>	<p>○ 囲み資料 ○ 肖像（生没年）、「学問のすゝめ」（写真） ○ 新しい考え方（文章） 福沢諭吉は、中津藩（大分県）の下級武士の家に生まれました。蘭学や英語を学んだのち、政府の使節団に加わってアメリカにわたり、自由や権利のたいせつさを学びました。 帰国すると、若い人たちの教育に力を入れるかたわら、「学問のすゝめ」などの書物をあらわしました。人間の平等や学問の必要を説いたこの本は、多くの人に読まれました。その後、いくつもの雑誌や新聞を発行しました。</p>

観点	(イ) 学習方法の工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	導入の工夫及び興味・関心を高める問いの例

	導入の工夫 (第5学年)	興味・関心を高める問いの例
東書	○ 大単元の導入において、見開きや片観音開きのページ構成により、写真などで具体的な社会的事象を提示するとともに、キャラクターの簡潔な問いで、学習への興味・関心を高めている。	○ 「わたしたちの国土」の導入ページ ・アジアを中心とした衛星写真，世界地図，緯度と経度，14か国の国旗を簡潔に説明している。 ・「わたしたちの地球」と題したキャラクターによる簡潔な問いを示している。 「日本は、どこにあるのかな。」 「世界には、どんな国があるのだろうか。」 ・下段に単元の学習のめあてを掲載している。
教出	○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真を使用した児童の学習活動の様子などで、具体的な社会的事象を提示するとともに、簡潔な話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。	○ 「わたしたちのくらしと国土」の導入ページ ・具体的な教材・教具（立体地図・地球儀・カーナビ等）を使用した学習活動の写真の中に、吹き出しによりわかったことを示している。 「土地の高さや低さがよくわかるわ。」 「これは昔の人が、使っていた絵の地図ね。」 「地球儀は、世界がぐるっと見わたせる地図ね。」 「カーナビは動く地図ね。」
光村	○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、地図で具体的な地理的事象を提示するとともに、キャラクターの簡潔な話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。	○ 「日本の国土とわたしたちのくらし」の導入ページ ・世界地図，日本地図，国名・海洋名の記入欄を設けている。 ・わかったことや疑問に思ったことのキャラクターによる簡潔な文章を掲載している。 「わたしたちの住んでいるまちは 日本のどこにあったかな。」 「世界地図でも自分たちの住んでいる場所を確かめてみましょう。」
日文1	○ 大単元の導入において、見開きのページ構成により、写真などで具体的な社会的事象を提示するとともに、キャラクターの簡潔な話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。	○ 「日本の国土と人々のくらし」の導入ページ ・日本を中心とした衛星写真を掲載している。 ・わかったことや疑問に思ったことをキャラクターによる簡潔な話し言葉により掲載している。 「これは宇宙から見た日本や日本のまわりのようすじゃ。」 「日本は緑の部分が多いね。その部分の土地は、どのようなようすなのかな。」 「日本のどこでも、くらし方は同じかな。」 ・下段には、単元の学習のめあてを掲載している。
日文2	○ 各大単元の導入において、見開きのページと同じレイアウトの構成により、写真・地図などで具体的な社会的事象を提示するとともに、キャラクターの簡潔な話し言葉で、学習への興味・関心を高めている。	○ 「日本の国土のようす」の導入ページ ・アジアの衛星写真，日本各地のくらしを表す特徴的な地域の4枚の写真を掲載している。 「国土はどのように広がっているの」 「自然に合わせて人びとはどのようにくらししているの」 ・下段には単元の学習のめあてを掲載している。

観点	(イ) 学習方法の工夫
視点	⑤見通しを立てたり、振り返ったりする学習のための構成上の工夫
方法	学び方のポイント及びまとめ方の例

	学び方のポイント (第6学年)	まとめ方の例 (第6学年)
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻の最初に見開きで「学習の進め方」のコーナーを設け、代表的な学習方法と進め方を紹介している。 ○ 「まなび方コーナー」を具体的な学習場面に合わせて配列し、学習技能を身に付けさせるとともに、問題解決的な学習を進めることができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「世界の中の日本」 ・つながりの深い国について調べたことを新聞などの作品にまとめる。 ・これまで学習したことからテーマを選び、自分の意見をまとめる。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻の巻頭に見開きで学び方(「教科書の使い方教)」を示している。 ○ 「学びのてびき」を具体的な学習場面に合わせて配列し、学習技能を身に付けさせるとともに、問題解決的な学習を進めることができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本と世界のつながり」 ・世界の国々と人々の暮らしについて調べたことを、ポスターセッションで発表し合う。 ・4年間の社会科学習をふり返り、感想や中学校で調べたいことをまとめて社会卒業文集をつくる。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に両観音開きのページ構成の「わくわくどきどき社会科ってたのしいな」のコーナーを設けている。 ○ 「学びナビ」のコーナーを具体的な学習場面に合わせて配列し、学習技能を身に付けさせるとともに、問題解決的な学習を進めることができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ともに生きる地球」 ・つながりの深い国について調べたことを発表し、ともに生きる平和な世界をつくるために自分たちに何ができるのか考える。
日 文 1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に「この教科書のしくみ」のコーナーを設けている。 ○ 「学び方・調べ方」コーナーを具体的な学習場面に合わせて配列し、学習技能を身に付けさせるとともに、問題解決的な学習を進めることができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「世界のなかの日本とわたしたち」 ・つながりの深い国について調べたことを発表し、今後どのような交流をすべきか表に整理する。 ・国連のはたらきや日本人の役割について学習したことを図にまとめ、友だちと話し合う。
日 文 2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上・下巻の巻頭に「この教科書を使うみなさんへ」のコーナーを設けるとともに、上巻の最初に「歴史を調べる手がかり」「じょうずに調べるために」のコーナーを設けている。 ○ 「学び方教室」を具体的な学習場面に合わせて配列し、問題解決的な学習を進めることができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「世界の人びととわたしたち」 ・調べた国についてまとめ、ポスターセッションで発表する。 ・調べた国についてまとめ、絵はがきを作成する。 ・学習を振り返り、「世界の平和」もしくは「国際交流」のテーマで作文を書く。

視点	(イ) 学習方法の工夫
視点	⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫
方法	作業的・体験的な学習の例及び具体的な事例

	作業的・体験的な学習の例 (第6学年)	具体的な事例 (第6学年)
東 書	○ 見学, 国づくり新聞づくり, 年表づくり, 人物の台詞づくり, 室町レポート体験レポート作成, 歴史人物の業績まとめ表づくり, 徳川家康への手紙作成, 古地図調べ, 浮世絵の解説書づくり, 学者の思い予想, 明治の人物関係図づくり, 歴史人物へのインタビュー・答え作成, インタビュー, 「自分」の歴史年表づくり, 作文作成, 政治関連記事調べ, 調査結果作品づくり	○ 「新しい日本, 平和な日本へ」 ・戦後のできごとについてインタビュー ・「自分」の歴史年表づくり ・作文作成
教 出	○ 見学, 歴史新聞づくり, インタビュー, 室町文化体験, 人物年表づくり, 歴史かるたづくり, ポスターづくり, 記録カード作成, レポート作成, 修学旅行の計画・報告, 韓国の文化体験, ポスターセッション, 社会科卒業文集づくり	○ 「平和で豊かな暮らしをみざして」 ・聞き取り調査 ・レポート作成
光 村	○ 見学, インタビュー, 縄文土器づくり, 貴族の暮らし新聞づくり, 室町文化体験, 3武将の年表づくり, 江戸のリサイクルポスターづくり, 人物カードづくり, テーマ別新聞づくり, 国民の権利と義務カードづくり, 未来へのメッセージ作成	○ 「戦争の時代から平和の時代へ」 ・聞き取り調査 ・戦後の復興調べ ・平成時代のできごと調べ
日 文 1	○ 見学, 年表づくり, 歴史新聞づくり, 図にまとめて話し合う, インタビュー, カードにまとめて関連図づくり, インターネット調査, つながりの深い国調べ, イラスト添付による年表づくり, 「自分」の歴史年表づくり	○ 「新しい日本へのあゆみ」 ・インターネット調査 ・図にまとめて話し合い
日 文 2	○ 服装の移り変わり調べ, 縄文土器づくり, 年表づくり, 室町文化体験, 3武将に関する討論会, 歴史川柳づくり, 歴史人物カードづくり, 紙芝居づくり, 聞き取り, 歴史新聞づくり, 本づくり, リーフレットづくり, 意見発表会, ポスターセッション, 絵はがきづくり, 作文作成	○ 「平和な世界をみざし, どう歩んでいるの」 ・聞き取り調査 ・本づくり

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量	
視点	⑦単元・題材や資料等の配列 ⑧単元・題材ごとの分量や問題数等	
方法	⑦単元の構成・事例の取扱い ⑧各単元の構成・補充的・発展的教材の分量，バランス	

	サイズ	第5学年における単元の構成 (補助・選択教材を含む)		補充的・発展的教材の分量	地域事例
		上巻	下巻		
東書	ワイド	90ページ	106ページ	上巻(10) 下巻(10)	○ 農業：庄内平野 ○ 水産業：静岡県 ○ 自動車工場：豊田市 ○ 国土：沖縄県，海津市
		○ 国土(40) ○ 農業・水産業(50)	○ 工業(50) ○ 情報(26) ○ 環境(30)		
教出	ワイド	140ページ	48ページ	上巻(34) 下巻(24)	○ 農業：南魚沼市 ○ 水産業：根室市，宮古市 ○ 自動車工場：苅田町 ○ 国土：北海道宗谷地方，沖縄県，南牧村，新潟市
		○ 国土(34) ○ 農業・水産業(56) ○ 工業(50)	○ 情報(22) ○ 環境(26)		
光村	B5	183ページ		(41)	○ 農業：庄内平野 ○ 水産業：気仙沼市，三浦市・葉山町，宇和島市 ○ 自動車工場：狭山市 ○ 国土：沖縄県，和寒町・旭川市，天竜川流域
		○ 国土(43) ○ 農業・水産業(47) ○ 工業(40) ○ 情報(24) ○ 環境(29)			
日文1	ワイド	90ページ	87ページ	上巻(18) 下巻(17)	○ 農業：横手盆地 ○ 水産業：松浦市 ○ 自動車工場：鈴鹿市 ○ 国土：沖縄県，上勝町
		○ 国土(44) ○ 農業・水産業(46)	○ 工業(37) ○ 情報(23) ○ 環境(27)		
日文2	B5	84ページ	84ページ	上巻(14) 下巻(20)	○ 農業：庄内平野 ○ 水産業：銚子市 ○ 自動車工場：太田町 ○ 国土：嬭恋村，北川辺町，上越市，沖縄島
		○ 国土(6) ○ 農業・水産業(45) ○ 工業(33)	○ 情報(20) ○ 国土(38) ○ 環境(26)		

※ () はページ数

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑨本文記述との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用
方法	使用されている写真，地図，グラフ等の資料及び小単元における資料の種類と数

	使用されている写真，地図，グラフ等の資料 (第5学年)	資料の種類と数 (我が国の農業)
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真，イラスト，国旗 ○ 地形図，分布図，主題図，地球儀 ○ 棒グラフ，折れ線グラフ，帯グラフ，円グラフ，雨温図，表 ○ 新聞記事 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真 (58)，イラスト (2) ○ 主題図 (5)， ○ 折れ線グラフ (1)，帯グラフ (4)，円グラフ (1)
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真，イラスト，国旗 ○ 地形図，古地図，主題図，地球儀 ○ 棒グラフ，円グラフ，帯グラフ，雨温図，折れ線グラフ，表 ○ 漫画，新聞記事 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真 (58)，イラスト (6) ○ 主題図 (5) ○ 円グラフ (1)，棒グラフ (6)，折れ線グラフ (3)，帯グラフ (1)，
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真，イラスト，国旗 ○ 地形図，主題図，鳥瞰図，地球儀 ○ 雨温図，棒グラフ，折れ線グラフ，帯グラフ，円グラフ，表 ○ 新聞記事 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真 (40)，イラスト (3) ○ 主題図 (4) ○ 円グラフ (2)，棒グラフ (4)，折れ線グラフ (4) 帯グラフ (1)
日文1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真，イラスト，国旗 ○ 地形図，主題図，白地図，地球儀， ○ 雨温図，棒グラフ，帯グラフ，円グラフ，表 ○ 新聞記事 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真 (33)，イラスト (4) ○ 主題図 (2) ○ 折れ線グラフ (4)，棒グラフ (3)，円グラフ (4)，表 (2)，
日文2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真，イラスト，国旗 ○ 地形図，主題図，地球儀， ○ 帯グラフ，円グラフ，折れ線グラフ，雨温図，表 ○ 新聞記事 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真 (40)，イラスト (7) ○ 主題図 (5)， ○ 棒グラフ (4)，円グラフ (3)，折れ線グラフ (2)，表 (1)

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑩本文以外の記述の工夫
方法	脚注・側注の扱い

脚注・側注の扱い（第3・4学年）	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ことば」により，用語の解説等を示し，学習のまとめで生かすようにしている。 ○ クリップの絵のついた枠囲みで語句の説明等を示している。 ○ 「まなびのポイント」により，その時間の学習の流れを示している。 ○ 「学び方コーナー」により，学習場面に応じた学び方（学習技能）を示している。 ○ 「チェックしよう」により，小単元の学習活動を振り返らせている。 ○ 「話し合おう」で話し合いのポイントを示している。 ○ キャラクターによる「疑問の投げかけ」，「気づき」，「学習への働きかけ」などの吹き出しがある。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びのてびき」により，学習場面に応じた活動の方法や手順を示している。 ○ 「やってみよう」により，具体的な学習活動を示している。 ○ 用語の解説を脚注で示している。 ○ キャラクターによる「疑問の投げかけ」，「気づき」，「学習への働きかけ」などの吹き出しがある。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びナビ」により，学習場面に応じた学習方法を示している。 ○ 学習活動のヒントを，固有のマークを付けて示している。 ○ 用語の解説を，固有のマークを付けて示している。 ○ 単元の終わりに，学習の振り返りを行うチェック欄を脚注に設けている。 ○ キャラクターによる「疑問の投げかけ」，「気づき」，「学習への働きかけ」などの吹き出しがある。
日 文 1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学び方・調べ方コーナー」により，学習場面に応じた学習技能を示している。 ○ 用語の解説を固有の枠で示している。 ○ キャラクターによる「疑問の投げかけ」，「気づき」，「学習への働きかけ」などの吹き出しがある。
日 文 2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学び方教室」により，学習場面に応じた学習方法を示している。 ○ 「ことばのまど」により，用語の解説等を示している。 ○ 道徳とのつながりを固有の枠で示している。 ○ キャラクターによる「疑問の投げかけ」，「気づき」，「学習への働きかけ」などの吹き出しがある。

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑪観察・調査や資料活用を通して入手した情報を的確に記録し、それらを再構成するとともに、お互いの考えを深めていくための工夫
方法	観察・調査や資料活用を通して入手した情報を的確に記録し、それらを再構成するとともに、お互いの考えを深めていくための学習活動例

	観察・調査や資料活用を通して入手した情報を的確に記録し、それらを再構成するとともに、お互いの考えを深めていくための学習活動例（第6学年）
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表にまとめる。 ○ 年表にまとめる。「自分」の歴史年表を作る。 ○ ノートにまとめる。新聞にまとめる。レポートにまとめる。手紙で報告する。解説書を作る。学習した人物の思いを書く。人物関係図を作る。学習した人物についてインタビューしたいことやその答えを書く。作文を書く。 ○ 説明する。発表する。調べたことをまとめる。漫画に人物を入れる。過去と現在の様子を比べる。意見をまとめる。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の地図を比べる。 ○ 年表を作る。 ○ カードにまとめる。メモやスケッチをする。 ○ 新聞にまとめる。人物関係図にまとめる。図にまとめる。歴史かるたを作る。ポスターを作る。解説をつける。カードをまとめたフォルダに名前をつける。レポートにまとめる。自分の考えを書く。社会科卒業文集を作る。 ○ 話し合う。発表する。絵を比べる。変化のわけを考える。歴史新聞を読み比べる。インタビューを考える。過去と現在の様子を比べて気付いたことをまとめる。和歌の説明をする。憲法案を比べる。できごとのつながりを整理する。ポスターセッションをする。カードを整理する。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2つのグラフを比べる。 ○ カードにまとめる。 ○ 年表にまとめる。 ○ ノートにまとめる。新聞を作る。ポスターを作る。20年後の私にメッセージを書く。 ○ 話し合う。発表する。考えたことをまとめる。貴族の暮らしと武士の暮らしを比べる。天下統一についてよんだ歌から3人の武将の役割を考える。
日 文 1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 絵地図にまとめる。地図に整理する。 ○ 表にまとめる。 ○ 年表にまとめる。自分の年表を作る。 ○ ノートにまとめる。図にまとめる。歴史新聞にまとめる。関連図を作る。 ○ 話し合う。発表する。学校生活と憲法の基本的人権について考える。
日 文 2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年表にまとめる。 ○ カードにまとめる。 ○ 歴史川柳を作る。紙しばいを作る。歴史新聞を作る。本を作る。リーフレットを作る。絵はがきを作る。作文を書く。 ○ 話し合う。発表する。絵から読み取ったことを関係付け絵の標題と合わせて意味を考える。討論会をする。意見発表会を開く。ポスターセッションをする。

観点	(オ)言語活動の充実
視点	⑫調べたことや考えたことを適切に表現する力を育成するための工夫
方法	新聞、地図、年表、レポート、ホームページなどでのまとめ方及び具体例

	新聞、地図、年表、レポート、ホームページなどでのまとめ方(第3・4学年)	具体例(第3・4学年)
東書	○ 地図、表、仕事マップ、年表、新聞、レポート、歴史マップ、安全カード、ポスター、紙しばい、パンフレット、カルタ、意見発表会、ホームページ	○ 県じまんパンフレットをつくろう <ul style="list-style-type: none"> ・「伝えたい内容について話し合ってみよう」 ・「どんな特色を伝えたいか？」 ・「地図や写真などをどう使うか？」 ・「だれに見てほしいか？」 ・「あなたが、県じまんパンフレットでいちばん伝えたいことを、タイトルをつけて短い文章で書いてみましょう。」 ・「(学習した)ことばをパンフレットづくりに役立てよう。」
教出	○ ノート、ポスター、グラフ、表、地図、ちらし、パンフレット、年表、新聞、絵カード、発表、スピーチ大会、ゲーム作り、紙しばい	○ 県のしょうかいパンフレットをつくろう <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな顔をもつ、わたしたちの県 ・アジアの国々とつながりの深い福岡市 ・農業がさかんな筑後川のまわり ・クリークがある柳川市 ・工業がさかんな北九州市と苅田町 ・焼き物づくりがさかんな東峰村 ・「完成したパンフレットを、前につくった「知っていることを発表するポスター」と見くらべて、思ったことを『あとがき』として書いてみましょう。」
光村	○ 地図、ガイドマップ、ポスター、年表、新聞、手紙、ノート、劇、紙しばい	○ まとめよう わたしたちの県のこと <ul style="list-style-type: none"> ・「神奈川県ってどんな所かな」 ・位置と地形 ・土地利用 ・主な農産物 ・県内でまかなえる神奈川県民の食べ物 ・人口の多い都道府県 ・工業のさかんな都道府県 ・「神奈川県の資料を見ながら白地図にまとめてみました。」 ・「神奈川県は、全国から見ると工業がさかんな県なんだね。」 ・「野菜作りがさかんなまちもあるのに、県外や外国から来る食べ物も多いよ。」 ・「人口が多いから県内で作られた食べ物だけでは十分ではないんだね。」
日文1	○ 地図、ガイドマップ、表、グラフ、ポスター、カード、パンフレット、キャッチコピー、年表、紙しばい、発表、図、ノート、すごろく	○ たしかめよう <ul style="list-style-type: none"> ・「はるかさんたちは、これまでに調べた県内の地いきの特色や、人々のくふう、努力について話し合い、カードにまとめました。また、これまでに調べた地いき以外の地いきについても、パンフレットなどで調べてカードをつくり、そのカードを県の大きな白地図にはっていき、すごろくをつくりました。すごろく遊びをしながら、自分たちの県には、有名な場所がたくさんあり、それぞれの特色を守り、はってんさせていくために、さまざまな取り組みがおこなわれていたことをたしかめました。」
日文2	○ 地図、発表、グラフ、まとめ文、新聞、ポスター、標語、日記、カード、年表、アルバム、ノート、紙しばい、発表会	○ 調べたことをまとめよう <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちの県のように ・県の位置 ・県の地形・土地利用 ・県の交通 ・まとめのことば 「わたしたちの県には、山地・平野・川などの地形があり、田や畑、森林などに利用されている。また、交通によってほかの県や国ともつながっている。」 ・まとめ方の例 「地図をかさねあわせてみよう」 「ひろかずさんたちは、県のようにすをあらわした地図をくらべてみて、どんなことがわかるか、話し合ってみました。」